

第三三回 武蔵野文学賞「高校生部門」

俳句部門 一句単独の部

【最優秀賞】

万緑の羽田空港侵蝕す

矢野 麟太郎

【優秀賞】

店員の双子と気付く良夜かな

帶谷 到子

精靈馬風に揺れつつひとり待つ

鈴木 里彩

蟬しぐれ止みて残れる石の熱

柳 英茉

【佳作】

青き空プールに映る私たち

佐藤 詩子

照り返すアスファルトまで拍手くる

清水 美櫻

炎天や骨の輪郭だけが我

高岡 奈央

白夜の湖ボートの影がまだ眠る

竹内 ライナス

恋をしたときの瞬きするスピカ

土屋 沙音

風薰る海から丘へ告ぐ手紙

辻村 莉央

木洩れ日に波紋ひとつや鶯^{スズメ}涼し

中村 紗綾

遊び紙母と見し日の秋桜

西森 結海

銀閣の淡きモノトーン秋驟雨

船山 智成

木枯らしに母の膳待つ灯のどもり

松本 煌史郎

しつとりとまつ毛の光る孕み鹿

峯田 陽仁

蟬しぐれ神父の説教訛りおり

宮内 菜摘

犬走る風より早くひまわりへ

横張 柚葉

雷の合間廊下を松葉杖

吉田 百花